

『CloudLending』と『Salesforce』で 実現する**融資DX**

～顧客接点から融資業務の抜本的デジタル変革～

富士通株式会社
2021年8月4日

- 1. 【Cloud Lending】と【Salesforce】による
顧客接点と融資業務のDXの取り組みご紹介**
- 2. 消費性ローンの申し込み～審査を例とした
デモンストレーション**
- 3. Q&A**

富士通の考える 融資DXの取り組みご紹介

マーケットのドラスティックな変化

- ・デジタルネイティブな世代の台頭
- ・フィンテック・プレイヤーの勃興
- ・チャレンジャーバンクの出現

金融庁 行政方針

- ・金融デジタルイゼーション
- ・利用者目線に立った金融サービス

デジタル化により 顧客に寄り添った 金融サービス

顧客接点強化

融資業務効率化

の必要性

これからの融資システムに求められるシステム

- ◆ ビックデータ、リアルタイム情報、AI等へのフレキシブルな連携
- ◆ 顧客ポータル/チャット問い合わせ等の新デジタルチャネルの活用
- ◆ ビジネスのスピードに対応した柔軟なシステム改修 / お客様による内製化

個人向けローン業務における次のような課題はございませんか？

1. 融資審査中にお客様が離脱してしまう

- ◆ 本審査は紙の申込が必要なため、顧客負荷と審査スピードが低下し、顧客の離脱が発生
- ◆ 審査状況に関する顧客からの問い合わせにリアルタイムな回答ができない

2. 業務改革をしようとしても、負担が大きくなかなか取り組めない

- ◆ システムの柔軟性がなく、業務改革のための負担が大きい
- ◆ システムが乱立し、新商品リリース・業務変更対応など、スピード感をもった対応が困難

3. データ利活用を強みとした融資ビジネスになかなか取り組めていない

- ◆ 各データがバラバラのシステムに蓄積されており、一元管理できていない

融資DX 3つのポイント

【顧客体験の向上】

【業務プロセスの抜本的削減】

【データドリブン型の融資ビジネス】

次世代ローンプラットフォーム

Salesforce

Experience Cloud
(Community Cloud)

Salesforce

新たな“顧客体験”

CLOUD LENDING
a Q2 company

Cloud Lending

融資審査
“自動化・効率化”

データドリブン型の融資ビジネスをサポート

シームレスな情報連携/顧客情報の一元管理/
将来に向けた柔軟性・拡張性

デモンストレーション

本日のデモメニュー

顧客体験の向上

仮審査、本審査、結果通知の
ワンプラットフォーム提供

ポータルを通じた審査状況の
リアルタイム通知

顧客のライフスタイルに沿った
多様な金融ソリューションの提供

融資状況の
リアルタイムな見える化

データドリブン型の融資ビジネス

業務プロセスの抜本的削減

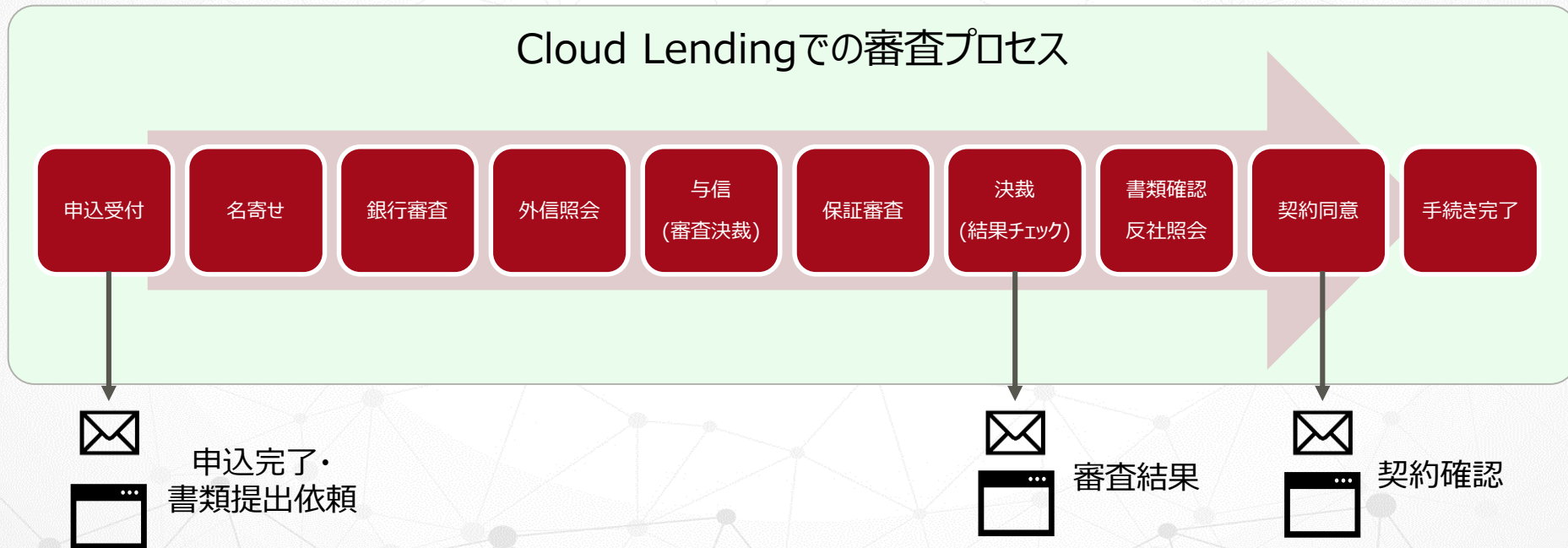
審査業務の
100%ペーパーレス化

シームレスな情報連携と
フローの自動化

システムの内製化による
継続的なBPR

審査標準フロー

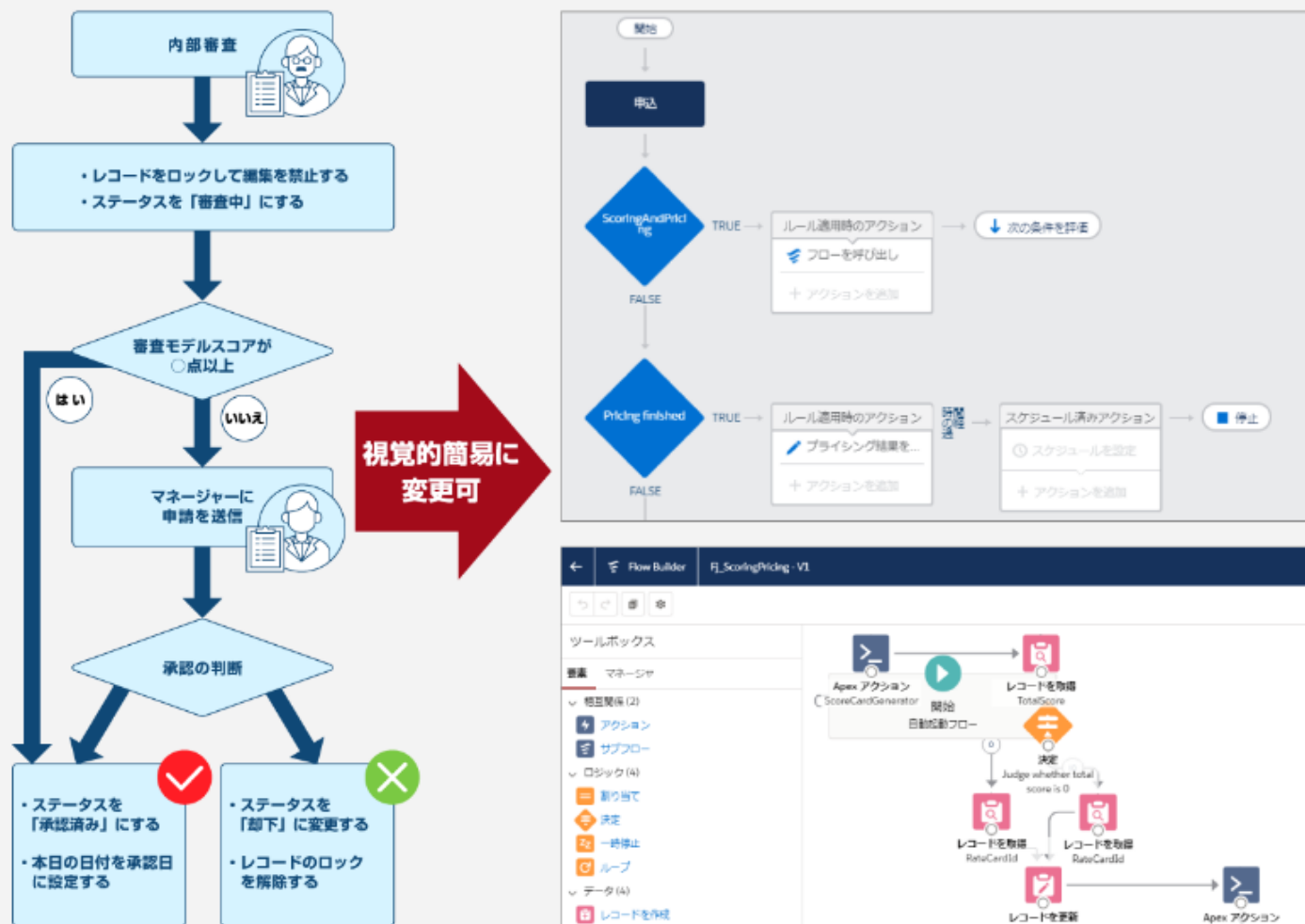
■Cloud Lendingの審査標準フローは以下の流れで進んでいきます。



■各プロセス完了時にメール、マイページへのお知らせによりお客様へリアルタイムでの通知を行うことが可能

参考：柔軟なワークフロー設定

『自動化』『目視審査』等、審査ワークフローを柔軟に実現可能

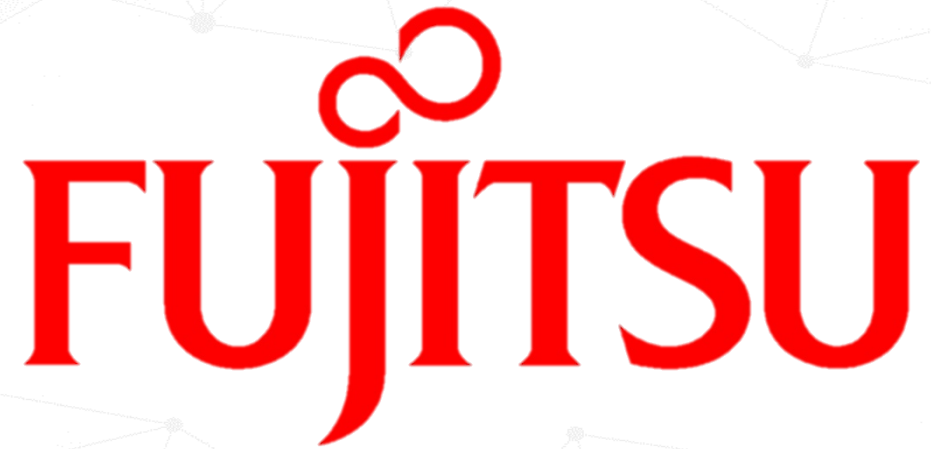


融資DX 3つのポイント

【顧客体験の向上】

【業務プロセスの抜本的削減】

【データドリブン型の融資ビジネス】



shaping tomorrow with you